



建築×教育×心理



伊東豊雄

建築家
伊東豊雄建築設計事務所
代表



Jukka Sarpila

フィンランド
エスポー市立パイヴァン
ケヘラン小学校校長。

2017年1月22日(日) 13:30~16:45 (開場13時)
宮城学院女子大学キャンパス 附属森のこども園
参加費無料 (事前申し込み制: 定員70名)

宮城学院女子大学附属認定こども園 森のこども園開園記念公開シンポジウム

「生きる喜び」から「生きる力」を育む

— 「森のこども園」を通して考える幼児教育・児童教育 —



あなたが土に触れたのはいつ以来ですか？
あなたは薪を焚き、火を起こすことができますか？
現代文明の恩恵を受け、スイッチ一つで何でもできてしまう今の時代、こどもたちは自然の危険を察知して自身の身を守ることをできなくなっていました。森のこども園では、アウトドア教育を通して、日々の生活の中で自然の豊かさと自然の怖さを知ることで「生きる力」、「学びの芽」を育むことを教育理念としています。
本シンポジウムでは、空間の力と教育の力の両側面から、現代社会における自然環境を活かした保育とアウトドア教育の大切さをお伝えします。

主催 宮城学院女子大学附属生活環境科学研究所・宮城学院女子大学附属発達科学研究所
協力 宮城学院女子大学生活科学部生活文化デザイン学科・建築学生有志団体アマリリス

Amaryllis 
生活文化デザイン学科
建築学生有志団体

プログラム

あいさつ 平川 新 (宮城学院女子大学学長)

趣旨説明 巖 爽 (生活環境科学研究所所長・生活文化デザイン学科教授)

第I部 招待講演 (13時45分～15時30分・日本語/英語 (逐次通訳))

- ・生きる力を育む場としての空間 伊東豊雄 (建築家)
- ・生きる力を育む教育実践ーフィンランドのアウトドア教育ー
ユッカ サルピラ (フィンランド エスポー市立パイヴァンケヘラン小学校校長)

通訳: 川崎一彦 (東海大学 名誉教授)

第II部 実践報告とクロストーク (15時40分～16時40分)

実践報告

1. 宮武大和 (札幌トモエ幼稚園主任教諭)
2. 庄子いづみ (森のこども園主幹保育教諭)

クロストーク

足立智昭 (本学教育学部教授) × 西浦和樹 (本学教育学部教授) × ユッカ サルピラ

閉会の言葉 戸野塚厚子 (宮城学院女子大学副学長 教育学部教授)



コンクリートジャングルで暮らし、電化製品、スマホに囲まれて育った今の子どもたちは本当の自然を知らない。火を焚き、暖をとって身を守る術も、自然のなかにある危険を予知・察知して身を守る能力も失われていった。非物質化生活が進む一方のいまこそ、教育に託された大切な使命の一つは、子どもたちに物質化生活を取り戻すための場を提供することではないだろうか。

本学の幼児教育、児童教育の目標の一つは人間の生きる力を身につけることであり、森のこども園はこの教育理念を具現化した場である。森のそばで生きる喜びを感じ、のびのびと育ち、生きる力を育んでいくのである。

本企画のねらいは建築、教育の両側面から、森のこども園の開園を機に今の時代に必要とされる保育、教育理念をあらためて考え、そして共有し、それを実現するための建築・空間の力を再認識することである。

パネリスト

伊東豊雄 Toyo ITO

1941年生まれ。主な作品に「せんだいメディアテーク」、「みんなの森 ぎふメディアコスモス」、「台中国家歌劇院 (台湾)」など。ヴェネチア・ビエンナーレ金獅子賞、王立英国建築家協会 (RIBA) ロイヤルゴールドメダル、プリツカー建築賞など受賞。東日本大震災後、住民の憩いの場、「みんなの家」の建設を推進している (2016年11月までに15軒完成)。

Jukka Sarpila ユッカ サルピラ

1998年にユヴァスキュラ大学の修士 (教育学) を修了、1999～2007年まで教師 (クラス担任) を務める。2002年に教育管理職の資格、2008年に学校運営の特別資格を取得。管理者研修なども複数受講。2007年より現職。

宮武大和 Yamato MIYATAKE 庄子いづみ Izumi SHOJI 足立智昭 Tomoki ADACHI 西浦和樹 Kazuki NISHIURA

札幌トモエ幼稚園主任教諭。家族みんなが「登園」できるトモエ幼稚園で大家族のような人間関係、自然の中での遊びを通して子どもと大人両方の幸せを目指す自然体験型教育を実践。こども環境学会評議員。

中学から短期大学保育科卒業までの8年間宮城学院に学び、仙台市内の幼稚園に10年、保育所に1年間勤務し未満児保育を経験。2004年度から、本学附属幼稚園に勤務し、「のびのび野外遊び」の実践に取り組み現在に至る。

専門: 発達臨床心理学。博士 (教育学)。宮城県子ども・子育て会議会長。デンマークの自然環境を活かした保育・教育について学ぶ。近著「加速度センサーを用いた積み木による子供のストレス軽減効果に関する一検討」 (共著: ヒューマンインターフェイス学会研究賞2015年)

専門: 教育心理学。博士 (心理学)。北欧滞在中の経験を生かし、子どもの創造性の育成、健康増進のための教育研究活動に従事。近著「北欧スウェーデン発森の教室ー生きる知恵と喜びを生み出すアウトドア教育」 (北大路書房)。

申込み方法 参加は無料ですが、事前申し込みが必要です。1/20 (金) までにメールもしくはファックスにてお申し込みください。

書式は自由です。「参加される方 (複数場合は代表者) のお名前・ふりがな、ご所属 (勤務先)、参加される人数」を明記の上、お申込み下さい。

E-mail: 0122kodomoen@gmail.com Fax: 022-277-6133

会場アクセス 仙台駅西口バスプール2番・3番乗り場。宮城交通バスで約30分。上杉通経由「宮城学院前」行、上杉通泉アウトレット経由「宮城大学」行、「アウトレット」行き、県庁市役所泉アウトレット経由「宮城大学」行、「宮城学院前」下車。キャンバスマップはHP「宮城学院女子大学」にてご確認ください。

※車でもお越しになれますが、駐車台数には限りがあります。

本企画に関する問い合わせ先: 宮城学院女子大学 巖 爽 yan@mgu.ac.jp